

長岡防災シビックコア地区整備計画における都市基盤施設整備の方針

□ A 街区

- ・主たる土地利用はライフスタイル対応型住宅（都市型集合住宅）とする。
- ・多様な居住者の利便性と快適性を確保するため、高齢者等福祉サービス、飲食・サービス施設などをライフスタイル対応型住宅との複合化の中で効率的に配置する。

□ B 街区

- ・土地利用は、長岡市民防災公園、長岡市消防本部、市民防災センター、官庁施設とする。
- ・公園は概ね 3 ha を確保し、災害時などには広域避難地として機能するとともに、日常的には都心のオアシスとして利用できるよう地区の中心に象徴的に配置する。

□ C 街区

- ・市町村合併やまちづくりの動向を見据えながら、街区全体を「夢づくり空間」と位置づけ、県の総合庁舎、備蓄関連施設の立地を検討するとともに、民間業務施設、交通関連施設の立地・誘導を図る。また、当面は暫定的な利用を図ることとし、都市イベントの開催や駐車場に活用するなど市民参加による利用を推進する。

